



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月14日

上場会社名 株式会社ウィッツ 上場取引所 東
 コード番号 4440 URL <https://www.witz-inc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部 博行
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 脇田 周爾 TEL 052-220-1218
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切り捨て）

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	1,276	18.4	159	22.0	179	30.1	126	54.0
2022年8月期第2四半期	1,078	8.8	130	27.6	137	29.2	82	10.4

（注）包括利益 2023年8月期第2四半期 126百万円（51.0%） 2022年8月期第2四半期 84百万円（11.6%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	30.51	30.47
2022年8月期第2四半期	19.71	19.66

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	2,867	2,302	79.3
2022年8月期	2,855	2,295	79.5

（参考）自己資本 2023年8月期第2四半期 2,274百万円 2022年8月期 2,269百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	ー	0.00	ー	8.00	8.00
2023年8月期	ー	0.00	ー	8.00	8.00
2023年8月期（予想）	ー	ー	ー	8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,500	6.6	160	△32.4	190	△28.4	125	△28.9	29.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	4,176,000株	2022年8月期	4,171,000株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	92,426株	2022年8月期	126株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	4,141,599株	2022年8月期2Q	4,162,477株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から立ち直りつつあるものの、国際情勢等によるエネルギー問題や急速な物価上昇、さらに、大幅な為替相場変動など、先行き不透明な状況が依然として続いております。

このような経済環境下においても、当社グループへの開発依頼は高い需要を維持しております。特に、組込みソフトウェアやシミュレータ・仮想空間の技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上、教育及び知財コンテンツ等の売上も堅調に推移しました。

また、前第3四半期連結会計期間において株式会社スクデット・ソフトウェア（以下、「スクデット社」という。）を新たに連結子会社とした影響もあり、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、新規事業の推進、事業の拡大、営業活動の強化などに向けた人員の増強や拠点の整備、スクデット社に係る販管費やのれん償却費の発生、人材確保に向けた採用関連コストの増加等により販管費が増加したものの、売上高の増加等による売上総利益の増加が販管費増分を上回り、前年同期比増益となりました。

経常利益においては、営業利益の増加に加え、Go-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）の補助金収入の見込計上により営業外収益が大きく増加したため、前年同期比増益となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益においては、経常利益の増加に加え、投資有価証券評価損（特別損失）が減少した他、法人税等の見積コストが減少したため、前年同期比増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高1,276,976千円（前年同期比18.4%増）、営業利益159,702千円（同22.0%増）、経常利益179,421千円（同30.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益126,366千円（同54.0%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第2四半期連結累計期間と前年同期の一方若しくは両方がマイナスの金額である場合または前年同期比増減率が1,000%以上となる場合は、前年同期比増減率の記載に代えて、前年同期額を記載しております。

1. ソフトウェア開発事業

当セグメントにおいては、自動車・産業製品向けの制御ソフトウェアの受託、シミュレータなど仮想空間技術の提案・開発・提供、近年の電子機器装置の安全性を担保するために必要なコンサルティング・安全性分析支援などを行っております。なお、連結子会社であるスクデット社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、主力であります組込みソフトウェアやシミュレータ・仮想空間の技術分野が好調であり、自動車向けの売上が大きく伸びた他、半導体関連装置を含む産業機械向けの売上が堅調に推移したため、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は1,209,227千円（前年同期比15.7%増）、セグメント利益（営業利益）は374,771千円（同22.7%増）となりました。

2. サービスデザイン事業

当セグメントにおいては、組込みシステム開発を通じて獲得した中核技術のノウハウを積極活用した新たな商品及びサービスの提供などを行っております。なお、連結子会社である株式会社イマジナリーは当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、事業の開始から間もなく、また、サービス事業創出のための投資を行っている段階ではありますが、顧客企業の未来製品の試作に関わる支援サービス等を行ったことにより、売上高は前年同期比増収となり、セグメント利益は黒字となりました。

この結果、売上高は35,461千円（前年同期比194.7%増）、セグメント利益（営業利益）は356千円（前年同期は15,627千円のセグメント損失）となりました。

3. その他

当セグメントにおいては、株式会社アトリエ、株式会社ヴィッツ沖縄が含まれております。

経営成績の状況といたしましては、前期に沖縄地域で実施していた一過性の実証実験の受託の影響により、イベント系エンタメ分野の売上が落ち込んだものの、組込みソフトウェア、セキュリティ及びセーフティの技術分野が好調に推移し、自動車や産業機械向けの売上が増加したため、売上高およびセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は113,017千円（前年同期比15.8%増）、セグメント利益（営業利益）は28,035千円（同48.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

前期末比増減率が1,000%以上となる場合は、前期末比増減率の記載に代えて、前期末額を記載しております。

(資産)

流動資産は、2,184,412千円（前期末比8.6%減）となりました。主な内訳は、現金及び預金1,807,044千円（同12.2%減）、受取手形、売掛金及び契約資産247,806千円（同22.5%増）、仕掛品67,297千円（同14.2%減）であります。

固定資産は、682,956千円（同46.5%増）となりました。主な内訳は、投資有価証券198,993千円（前期末2,631千円）、保険積立金154,621千円（前期末比5.2%増）、のれん91,755千円（同5.3%減）、有形固定資産46,444千円（同11.2%増）であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における総資産は、2,867,369千円（同0.4%増）となりました。

(負債)

流動負債は、313,427千円（前期末比0.6%減）となりました。主な内訳は、賞与引当金104,593千円（同10.0%減）、未払法人税等59,161千円（同13.7%増）、買掛金38,178千円（同3.5%増）であります。

固定負債は、251,328千円（同2.9%増）となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債157,738千円（同4.7%増）、長期未払金91,495千円（前期末同額）であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、564,755千円（前期末比1.0%増）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、2,302,613千円（前期末比0.3%増）となりました。主な内訳は、資本金612,524千円（同0.2%増）、資本剰余金547,159千円（同0.2%増）、利益剰余金1,205,680千円（同8.4%増）であります。

(3) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな開発案件において計画縮小や中止、開始時期の延期などが発生する可能性があります。また、当社グループ内で感染者が確認された場合には開発リソースが不足する可能性があります。これらのリスクが顕在化した場合、当社グループの経営成績及び財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2022年10月13日に公表いたしました予想からの変更はありません。なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,058,795	1,807,044
受取手形、売掛金及び契約資産	202,348	247,806
仕掛品	78,452	67,297
その他	49,687	62,264
流動資産合計	2,389,283	2,184,412
固定資産		
有形固定資産	41,751	46,444
無形固定資産		
のれん	96,853	91,755
その他	26,885	39,876
無形固定資産合計	123,738	131,632
投資その他の資産		
投資有価証券	2,631	198,993
保険積立金	146,909	154,621
その他	151,070	151,264
投資その他の資産合計	300,611	504,879
固定資産合計	466,101	682,956
資産合計	2,855,385	2,867,369
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,888	38,178
未払法人税等	52,010	59,161
賞与引当金	116,207	104,593
製品保証引当金	958	883
その他	109,145	110,609
流動負債合計	315,209	313,427
固定負債		
退職給付に係る負債	150,640	157,738
長期未払金	91,495	91,495
その他	2,094	2,094
固定負債合計	244,230	251,328
負債合計	559,440	564,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	611,561	612,524
資本剰余金	546,050	547,159
利益剰余金	1,112,681	1,205,680
自己株式	△325	△88,834
株主資本合計	2,269,968	2,276,529
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△2,150
その他の包括利益累計額合計	—	△2,150
非支配株主持分	25,975	28,234
純資産合計	2,295,944	2,302,613
負債純資産合計	2,855,385	2,867,369

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	1,078,846	1,276,976
売上原価	642,099	786,688
売上総利益	436,747	490,287
販売費及び一般管理費	305,885	330,584
営業利益	130,862	159,702
営業外収益		
補助金収入	—	13,034
助成金収入	1,355	4,026
保険解約返戻金	4,038	1,685
保険事務手数料	532	510
受取手数料	26	26
その他	1,139	1,307
営業外収益合計	7,093	20,591
営業外費用		
自己株式取得費用	—	773
支払利息	11	12
その他	0	86
営業外費用合計	12	873
経常利益	137,943	179,421
特別利益		
固定資産受贈益	539	—
特別利益合計	539	—
特別損失		
投資有価証券評価損	2,920	325
固定資産除却損	68	—
特別損失合計	2,988	325
税金等調整前四半期純利益	135,493	179,095
法人税等	51,462	50,027
四半期純利益	84,031	129,067
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,973	2,701
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,057	126,366

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	84,031	129,067
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△2,150
その他の包括利益合計	—	△2,150
四半期包括利益	84,031	126,917
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,057	124,215
非支配株主に係る四半期包括利益	1,973	2,701

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	135,493	179,095
減価償却費	7,842	6,758
のれん償却額	—	5,097
その他の償却額	2,238	931
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,152	△11,613
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	8	△74
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,095	7,097
固定資産受贈益	△539	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	2,920	325
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	11,313	△45,458
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△22,739	11,155
仕入債務の増減額 (△は減少)	13,868	1,290
その他	△35,703	△6,971
小計	95,647	147,634
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△45,583	△42,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	50,063	105,039
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,735	△5,337
無形固定資産の取得による支出	△8,850	△14,886
差入保証金の差入による支出	△20,621	△2,100
差入保証金の回収による収入	1,621	2,335
保険積立金の積立による支出	△9,380	△9,287
保険積立金の解約による収入	1,939	3,967
投資有価証券の取得による支出	—	△200,000
長期前払費用の取得による支出	—	△2,739
その他	—	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,025	△227,996
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△504	—
株式の発行による収入	1,155	1,925
配当金の支払額	△24,892	△33,308
非支配株主への配当金の支払額	△328	△442
自己株式の取得による支出	—	△96,967
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,569	△128,794
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△15,531	△251,751
現金及び現金同等物の期首残高	1,646,548	1,658,795
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,631,017	1,407,044

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2022年11月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。また、2022年12月14日開催の取締役会決議に基づき、2023年1月6日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式7,700株の処分を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が88,509千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が88,834千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、時価算定会計基準適用指針の適用が四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間（自 2021年9月1日 至 2022年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ソフトウェア 開発事業	サービス デザイン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,040,244	12,033	1,052,277	26,569	1,078,846
内、請負契約	649,917	100	650,017	25,945	675,962
内、準委任契約	208,151	—	208,151	624	208,775
内、派遣契約	170,784	—	170,784	—	170,784
内、その他	11,390	11,933	23,324	—	23,324
外部顧客への売上高	1,040,244	12,033	1,052,277	26,569	1,078,846
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,000	—	5,000	71,030	76,030
計	1,045,244	12,033	1,057,277	97,599	1,154,877
セグメント利益又は損失(△)	305,349	△15,627	289,721	18,919	308,641

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,057,277
「その他」の区分の売上高	97,599
セグメント間取引消去	△76,030
四半期連結損益計算書の売上高	1,078,846

利益	金額
報告セグメント計	289,721
「その他」の区分の利益	18,919
全社費用(注1)	△185,976
その他の調整額(注2)	8,198
四半期連結損益計算書の営業利益	130,862

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年9月1日 至 2023年2月28日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	ソフトウェア 開発事業	サービス デザイン事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,209,227	35,461	1,244,689	32,286	1,276,976
内、請負契約	579,142	11,294	590,437	27,344	617,781
内、準委任契約	424,612	19,500	444,112	—	444,112
内、派遣契約	196,872	—	196,872	4,942	201,815
内、その他	8,600	4,666	13,266	—	13,266
外部顧客への売上高	1,209,227	35,461	1,244,689	32,286	1,276,976
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	80,730	80,730
計	1,209,227	35,461	1,244,689	113,017	1,357,706
セグメント利益	374,771	356	375,127	28,035	403,163

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、子会社における研究事業の推進やソフトウェア開発の検証事業等であります。

2. 報告セグメント合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	金額
報告セグメント計	1,244,689
「その他」の区分の売上高	113,017
セグメント間取引消去	△80,730
四半期連結損益計算書の売上高	1,276,976

利益	金額
報告セグメント計	375,127
「その他」の区分の利益	28,035
全社費用（注1）	△255,027
その他の調整額（注2）	11,566
四半期連結損益計算書の営業利益	159,702

(注1) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

(注2) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。